

社会福祉法人 春風会

令和 2 年 5 月 10 日

はるかいぜ やまゆり荘

第 79 号

〒377-0433 群馬県吾妻郡中之条町折田2515 TEL. 0279-75-6517

春風会運営にあたって

いかがお過ごしでしょうか。やまゆり荘周辺の春は町で中之条ガーデンズを整備している関係もあり、一際美しい様相を示します。本年も花々の咲き乱れる季節から青葉が芽吹く時季になってまいりました。

しかし今年はこれを眺める心のゆとりがありません。新型コロナウイルス感染症の猛威が世界を覆い、日本でも 14,000 名を超える方々が罹患しています。まだまだ終息がいつであるのか分かりません。群馬県では、4 月 30 日現在、145 名の方が感染し 15 名の方が亡くなっています。集団感染「クラスター」と呼ばれる一つの単位でたくさんの方が感染する状態が県内でも発生し、老人福祉施設「藤和の苑」関係では 70 名の感染者と 14 名の死亡者を出しています。

このウイルスに感染した時、老人は特に重症化するとされています。老人介護を業務とするやまゆり荘でもこのことを留意し、日々の介護を行っていかねばなりません。

特に、やまゆり荘ではデイサービスやショートステイ等の家庭と施設を行き来するご利用者もおられる訳で、よりその感染のリスクが高まっています。私共もデイサービスやショートステイの方々が施設内の特養部分に出入りしないで済むように、また洗濯物や食事等も極力分離するよう努め、体温測定や手指消毒を義務づけています。さらに外出行事も控えています。

またご利用者ご家族の面会についてもご遠慮いただいております。

不自由さを強いることとなりますが、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

施設も開所から 22 年目を迎えました。職員一同力を合わせ、地域になくてはならない施設を目指して参ります。皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人 春風会
理事長 南波 和憲



令和2年度（2020年度）当初予算書

（自）令和2年4月1日

（至）令和3年3月31日

単位：千円

		科 目	予 算
事業活動による収支	収 入	やまゆり荘事業収入	3 2 0, 5 2 0
		ショートステイ事業収入	6 8, 7 0 0
		デイサービス事業収入	2 4, 5 0 0
		すいせんの里事業収入	1 3 2, 1 0 0
		いわびつ荘事業収入	2 2 3, 3 1 0
		ケアハウス事業収入	3 7, 3 0 0
		その他事業収入	1, 8 0 0
		その他の収入	8, 8 6 6
		事業活動収入計（１）	8 1 7, 0 9 6
	支 出	人件費支出	5 3 6, 0 6 5
		事務費支出	1 4 5, 2 8 5
事業費支出		6 3, 1 4 5	
その他の支出		7 8 5	
事業活動支出計（２）		7 4 5, 2 8 0	
事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）		7 1, 8 1 6	
事業活動による収支	収 入	施設整備等補助金収入	0
		施設整備等収入（４）	0
	支 出	建物・構築物取得	1 5, 7 0 0
		固定資産・車輛運搬具取得	4, 1 0 0
		施設整備等支出（５）	1 9, 8 0 0
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）		-1 9, 8 0 0
その他の活動による収支	収 入	その他の収入	0
		その他の活動収入計（７）	0
	支 出	借入金元金償還支出	9, 5 6 7
		その他の支出	1, 4 3 0
		納付金支出	1 8, 1 7 5
		その他の活動支出計（８）	2 9, 1 7 2
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）		-2 9, 1 7 2
当期資金収支差額合計（１０）＝（３）＋（６）＋（９）		2 2, 8 4 4	

施設整備による

収支差額▲19,800千円及びその他の活動による

収支差額▲29,172千円の合わせて48,972千円は、事業活動資金収支差額を充当する

令和2年度(2020年度)事業計画

特養やまゆり荘

■ 総務係

- ◆ 運営推進会議、ホームページ・施設だよりを通じて施設への理解が深まる工夫をする
- ◆ 各拠点で会計をはじめ事務処理が完結するように努力する
- ◆ 学校訪問や実習生受け入れなどを積極的に行い人材確保に努める
- ◆ 評議員選任・解任委員会の開催、役員改選準備などを行う

■ 生活相談係

- ◆ 一人ひとりを尊重し、皆様が笑顔で生活できる施設を目指す
- ◆ 介護レベルの底上げを図るため各種委員会や研修体制を継続する
- ◆ 施設の顔という意識を持ち、親切・丁寧な申し込み受付対応を行い相談援助技術の向上を図る

■ 介護係

- ◆ 基本を忠実に守り、職員一丸となって安全・安心・安楽な介護をする
- ◆ 職員間や他部署との「報告・連絡・相談」を密にし、働きやすい環境を作る
- ◆ 利用者様が四季を感じられるように創意工夫をする

■ 看護係

- ◆ 他業種との情報交換を密に行い、統一感のある看護を提供する
- ◆ 医師との連携を密に行い、入所者の健康維持・回復に努める
- ◆ 基本を忠実に守り、安全確認を徹底する

■ 食事係

- ◆ 利用者のレベル変動に伴い、細分化された食事内容をより充実させるよう努める
- ◆ 行事食、選択食を行い、視覚からも楽しめる季節を感じられる食事を提供する
- ◆ 3施設で連携を取り、食事運営が円滑に進むよう協力する

ショートステイやまゆり

- ◆ ベッド稼働率90%を目指す
- ◆ 日々の関わり合いの中で笑顔が見いだせるよう、笑顔の介護を実践する
- ◆ 利用者確保のため空き室の情報提供を行い居宅事業所との連携を図る

デイサービス

- ◆ 利用者個々の心身状態を把握し、自立支援を促進するよう日常生活支援を行う
- ◆ 利用を楽しみにしていただけるよう、「笑顔の介護」と雰囲気作りに努める
- ◆ 家族や支援事業所と連携を密にとり、介護者の負担軽減やサービスの質の向上に努める

ケアハウス ハーブガーデン

- ◆ 報告・連絡・相談の徹底で職員間の情報共有に努める
- ◆ 入居者の介護度が高くなっているため、個々にあったサービス提供ができるように努める
- ◆ 感染症やインフルエンザ等流行の兆しが見え出す前に、対策を徹底する
- ◆ 待機者確保に努める

地域公益活動推進室

- ◆ 群馬県ふくし総合相談支援事業を「なんでも福祉相談員」として行う
- ◆ 地域の防災基盤の一端として行事への参加や施設内で防災事業を行う
- ◆ 福祉の理解と将来の介護人材育成のため、各種研修等への協力や実習生等の受入を支援する
- ◆ 各種会議や協議会等への参加を行い、積極的に地域資源との連携強化を図る

はるかぜ保育所

- ◆ 保護者が安心して働けるよう、両立支援をめざし、多様な働き方に対応していく

小規模特養すいせんの里

- ◆ 個々の生活を尊重し、皆様が「笑顔」で生活できる施設を目指す
- ◆ 介護の質の向上を図り、皆様が「安心」して支援を受けられるスタッフ育成を目指す
- ◆ ご家族参加型の行事を充実させ、開かれた施設運営を目指す

特養いわびつ荘

- ◆ 第2期の指定管理運営を安定させる
- ◆ 伴走型介護が実践、評価できるような取り組みを心がける
- ◆ 地域における特養の役割が果たせるよう地域と連携していく



3月、ケアハウスではひな祭り会を行いました。

2月にご利用者と飾り付けをしたお雛様。

1ヶ月、皆様とその華やかな姿を楽しみお片づけの日にお別れを惜しみながら、昼食会としてちらし寿司やコロッケ等で春のお祝いをしました。

色とりどりの鮮やかなちらし寿司に皆様笑顔になり、会話も弾む良いおひな祭りになりました。

後日、お雛様にお供えてあった菱餅もあべかわ餅にして、甘酒、あられと共に頂き春を迎える行事を満喫できました。

今年は新型コロナの影響で、中々外での春を楽しむ事が難しいですが、その分室内であっても四季を感じて生活出来るように工夫して楽しく過ごしていただきたいと思います。

ケアハウス 介護係 蟻川 小百合



毎年、利用者様と楽しい時間を過ごすお花見が今年は新型コロナウイルスにより感染拡大を抑えるため、そして利用者様の安全を考え、施設内・近辺としました。

この日は朝からとても暖かくて絶好のお花見日和。利用者様と一緒にいざ出発！

皆様久しぶりの屋外。水仙、パンジー、桜、花桃を見て「わあー！キレイだね！」「ほんと、キレイ！」など目を輝かせながら会話も弾み、そんな会話を聞いている私達も自然に笑顔。



そして利用者様たちは桜、花桃をバックに記念撮影…。しかし、利用者様はお花をもっと見たくて夢中になり、会話が弾むなど…。カメラに気付くとすごく良い笑顔、笑いが耐えない、そんな利用者様の姿を見て心が癒されました。今後も楽しんで頂けるような行事を行いたいと思います。



のぞみグループ 介護係 本多 信子



暖かな日差しや草花が芽吹き始める様子に、春の訪れを感じられるようになった3月下旬、保育所ではお別れ会を行いました。

登園してくると、華やかに飾られた保育室を見て、「わー！きれい」「〇〇ちゃんのお顔がお花になってる～」と嬉しそうにはしゃぐ子どもたちの姿がありました。

お別れ会では、特別メニューとして自分で選んだトッピングをのせてパフェを作って食べたり、1年間の子どもたちの様子をまとめたスライドショーを鑑賞したり、1人ずつ前へ出てインタビューをしたりと、卒園する子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。

この一年を振り返り、子どもたち一人ひとりが様々な経験や関わりを通して多くのことを学び吸収し、身も心も大きく成長したのだと感じました。成長著しい大切な時期を近くで見守れたことに感謝し、はるかぜ保育所を卒園する子どもたちが新しい環境でも笑顔で自分らしく輝けるよう願っています。

はるかぜ保育所 関 寿々花



デイサービスでは利用者様に、入浴を除いた午前中の時間を使ってそれぞれが好む活動に取り組んで頂いております。パズルや塗り絵、間違い探しやナンプレ、新聞や本を見たり・・・。

皆さん、集中して取り組んで下さっており、塗り絵を幾日もかけて丁寧に塗り、見事な作品に仕上げて下さる方や、間違い探しやパズルが1人ではどうにもならなくなり、周りにいる方と協力して完成させている様子などが見られています。



午後には、体操やレクリエーションを行っており、皆さんで冗談を交えながら和気あいあいとした時間を過ごして頂いています。

新年度がスタートし職員も心機一転、利用者様の能力を引き出し楽しみのある生活をして頂けるよう支援して行きたいと思っております。

今年度も、どうぞ宜しくお願い致します。

デイサービス 生活相談員 佐藤 博美



ご当地メニュー

昨年9月から月に1回ご当地メニューの日として各都道府県の郷土料理や名産品を取り入れています。

3月はいちごが旬なので、栃木県のご当地メニューを献立に取り入れました。

栃木県のB級グルメのじゃが芋入りやきそば、宇都宮餃子、いちご、おやつにレモン牛乳を提供しました。

利用者の皆様からレモン牛乳を初めて知った方や旅行した気分になったと声が聞こえました。今後も利用者の皆様には食事で楽しんでもらえるよう献立の企画、工夫を行って行きたいと思ひます。

食事係 萩原 正光

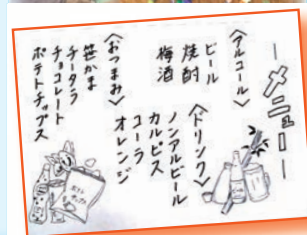


普段中々飲めないお酒やおつまみを召し上がりながら、楽しい時間を過ごして頂きたい！との思いから、ドリンクの日を行いました。ビールや日本酒、梅酒などのお酒をはじめ、ノンアルコールビールやコーラ、おつまみには笹かまやチータラなどをご用意しました。

職員の皆さんにご協力を頂き、ご入居者様、ご利用者様の皆様に飲みたいものをお伺いしながらお配りすると、「梅酒を飲むなんて何年ぶりだろう～！」「初めてコーラを飲んだよ」といった楽しそうなお声が聞こえたり、「アルコールが入っていないビールはおいしくないなあ」と苦い顔をされる姿など、皆様の色々な表情を見ることが出来ました。次回開催する時には、また違う飲み物やおつまみで、いつもと違ったおやつ時間を楽しんで頂きたいと思ひます。

事務係 戸塚 真由

ドリンクの日



◆◆◆◆◆なんでも福祉相談員研修会◆◆◆◆◆

2月19日に行われた、「なんでも福祉相談員研修会」に参加してまいりました。これは、多様な社会福祉法人が連携して、専門分野以外の相談にもワンストップで応じる群馬県ふくし総合相談支援事業における「なんでも福祉相談員」としての研修になります。

「相談支援に専門性は必要か？」と問われたら、「必要」と答えることが多いと思ひます。しかし、この研修の中では、①専門性が有るが故に陥る「上から目線や専門性による攻撃」を無くす。②相談者とその言葉に注目して答えを教えてもらう姿勢で対峙する。③相談者が課題に対して主体的に向き合い、語り続ける中で、「結果としての問題解決」を目指すという、ナラティブソーシャルワークを学びました。これは時間のかかる作業ですが、根本的な解決が図れると言われます。これ以外にも心構え、手法、技術などを要約した形で学び、とても勉強になりました。

最後に、今回の研修にも出てきた「6つの価値」を紹介します。

①以下の事柄で、あなたが重要だと思う順に番号を付けてください。

愛情（ ） 権力（ ） 誠実（ ） 学力（ ） 財力（ ） 美貌（ ）

②他者と理由を含めて話し合い、比べてみましょう。正解はありませんが、研修の中では、多くのグループが似たような答えを出していました。自己覚知と他者理解を深めることが出来ると思ひます。お試しください。

地域公益活動推進室 室長 下前 剛次

オンライン面会はじめました

やまゆり荘ではインフルエンザの発症に伴い、1月より面会自粛とさせていただきます。インフルエンザも落ち着き、解除に向けて案内の準備を始めていた矢先、今回の新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令となり、面会自粛を延長せざるを得ない状況にあります。

長い間、大切なご家族に会えない日が続き、ご迷惑やご心配をお掛けしている中、ご家族の皆様からは反対に施設の職員へ労いや感謝の温かいお言葉をたくさんいただき、また様々な形でご配慮いただいていることを大変有り難く思っています。



介護はご家族と施設職員で行うチームケアです。少しでもご利用者様とご家族を繋ぐお手伝いができればと思い、タブレットを活用したオンライン面会を始めました。画面に向かって話しをすることなど、今までなかったであろうお年寄りがオンラインでうまくコミュニケーションをとれるか不安はありますが、ご家族に現状をお伝えするツール（道具）になればと思います。是非、ご活用下さい。

私達も目を見て、肌に触れてお会いできる日常に1日も早く戻ることを願っております。

特養 介護支援専門員 武田 朝子



新型コロナウイルスについて

世界中を震撼させている、新型コロナウイルス。いつ、どんなときに感染・発症するか解らず、不安な毎日を送らなければ行けない事態になってきています。

新型コロナウイルス感染症とは、発熱や喉の痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多い事が特徴です。

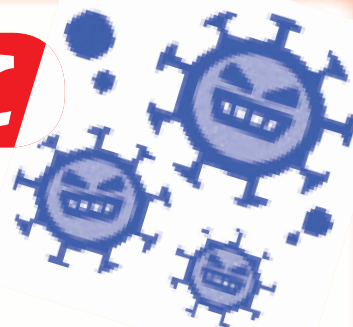
新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつるといわれています。重症化すると肺炎になり、亡くなられてしまう方もいます。特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすいといわれているので特養施設等は十分注意して行かなければなりません。新型コロナウイルスの対策として、3つの密を避けることでクラスター（集団）の発生を防止することが重要です。

①換気の悪い密室空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面。まだ治療薬が出来ていない段階で自分達が日常生活で気を付けることは、まず手洗いが大切です。外出からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。咳などの症状がある方は咳やくしゃみを手でおさえると、その手で触った物にウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気を移す可能性があります。咳エチケットを行いましょう。



まだまだ安心できない日が続くと思われます。不要・不急な外出は避けて。これ以上感染の拡大を防ぐためにも1人1人が注意しこの難局を乗り切らなければなりません。

看護師 橋詰 正雄



夜間想定避難訓練

令和2年3月14
日に夜間想定避難訓練実施しまし

た。例年は地元消防団様にも来荘して頂き、訓練の様子見て頂き意見を頂戴していましたが、今回はコロナウイルス流行に伴い消防団様来荘自粛して頂き職員のみでの訓練となりました。



夜間想定という事で宿直者役1名、夜勤者役4名、入居者様・利用者様にも協力して頂いての訓練で、訓練中での事故、ケガも無く無事に実施出来ました。訓練実施した中で参加者からは、夜間の場合少ない人数でいかに避難誘導できるか考えさせられた、訓練でも焦ってしまったので、いざという時に冷静に対応できるか心配等様々な意見が出ました。

例年昼間想定、夜間想定2回の訓練ではありますが、訓練を行う事での職員への防災意識、対応方法の検討を考えて貰える機会になればと思います。

防火管理者 小池 勝也

数年前から人手不足が問題となっており、団塊の世代が75歳を迎える2025年には、群馬県において5,000人の介護人材が不足するとの統計も出ております。

理事長より、幅広く人材確保をしていくという指示のもと様々な取り組みをしてきましたが、今春初めて外国人職員が仲間に加わりましたので紹介させていただきます。

彼らは、母国を離れ、やまゆり荘でアルバイトをしながら介護福祉士専門学校で2年間学んできました。今後、彼らの働く姿・利用者様に接する姿を見て下さい。

とても優しく・真面目で介護に国境はないと感じていただけたと思います。

施設長 宮崎 宏徳

外国人職員の

紹介

紹介



E・マンライ

モンゴル出身です。

一生懸命頑張ります。
よろしくお願いします。



セニクアンダーソン

スリランカ出身です。

一生懸命頑張ります。
よろしくお願いします。

編集後記

新型コロナウイルスの影響は例外なく我が家にも降りかかっています。学校は新学期を迎えましたが休校となり、子ども達は目標なく日々を過ごしています。そんな中、楽しみがないか探していたところ、TVで子ども雑誌の付録「公衆電話」の特集をしていたのを目にし書店に買いに行きました。

・・・が、世の中考えることは皆同じのようで、どこにもありません。仕方なく自宅に戻りました。

その数日後・・・子どもが「あったよ!!」と買ってきたので「作ってごらん。」と見てみると、1時間くらい掛け仕上がりつつありますが、そこは小学2年生。分からなくなり父にバトンタッチ。大人の方が楽しそうです。間もなく出来上がりました。紛れもなく、皆さんの記憶にある緑色の公衆電話です。大きさもほぼ原寸大。テレホンカード(紙)、硬貨(紙)もちゃんと入り、そしてかかるべき所から出てきます。紙なのに本格的です。受話器もカチャンとなります。数日楽しませて頂きました。

先の見えないトンネルの中にいるようで、日々、不安です。ですが、日常生活に楽しみを見つけて過ごすことが今は大事なのかなと思います。利用者の皆様にも我慢を強いている状況です。少しでも楽しいと感じて頂けるよう、できることを考えて対応していきたいと思います。宜しくお願い致します。

特養 生活相談員 加部 愛